## [第7回目] 電流1

≪今日の授業の目標≫

○ コンデンサー (電気を蓄える装置)

$$C = \frac{Q}{V}, \qquad \boxed{Q = CV}$$

電気容量C 単位 [F] (ファラド)

回路図の記号



コンデンサーに蓄えられる静電エネルギー(電荷とともにエネルギーも蓄える)

[F]

$$U = \frac{1}{2}CV^2 \qquad \left[ = \frac{1}{2}QV = \frac{1}{2}\frac{Q^2}{C} \right] \qquad [J]$$

平行板コンデンサーの場合  $C = \varepsilon \frac{S}{d}$ 

金属板の間に,セラミック, プラスチックなど, $\varepsilon$ の大き な物質をはさむ。

誘電率: $\varepsilon$  [F/m] (= [C<sup>2</sup>/N·m<sup>2</sup>]

## ○ 電流

電流の強さ

$$I = \frac{q}{\Delta t}$$

単位 [A] (アンペア)

・ オームの法則  $I = \frac{V}{R}$  または V = RI

電土 電圧降下 R  $\sim$   $Q_{\frac{1}{N}}$ 

(電気) 抵抗 R : 電流の流れ

: 電流の流れにくさ 単位  $[\Omega]$  (オーム) = [V/A]

I = envS

(普通,) 電流は電子の移動によって生ずる。

(負の電荷-eをもつ電子は、電流の向きと逆向きに移動する)

・ ジュール熱  $\boxed{Q_{\underline{\mathbb{A}}} = W = IV \cdot \Delta t}$  単位:[J] (ジュール) 電力  $\boxed{P = IV}$  単位:[W] (ワット)

学習到達目標(3) ミクロな視点で電流を説明できる。

次回予定 [第8回目] 電流2 (教科書76ページまで)+確認テスト1

数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつけること!

☆… 問1 本日の授業で学んだことで、重要と思うことをまとめよ。(式も用いてよいが、基本的に 文章で答える。)授業を欠席した場合は、教科書の該当箇所を自習して答えること。

教科書 p.62 にある演習問題から

問2 問題 A.5 の①(a)(b)(c)を答えよ。ただし、○または修正をした理由を簡単に付すこと。

問3 問題 A.5 の②を答えよ。

教科書 p.77 にある演習問題から

問4 問題  $A.6 \, O(\mathbb{D}(a) \sim (f)$ を答えよ。ただし、 $\bigcirc$ または修正をした理由を簡単に付すこと。

問 5 問題 A.6 の②を答えよ。 問 6 問題 A.6 の③を答えよ。

<予告> 次回 [11/13 (月) or11/16 (木)] に第1回確認テスト (授業後半40分くらい) 関数電卓使用可 ※できるかぎり間をあけて座ること。

範囲:電気現象と電子, クーロンの法則, 電場(電気力, 電気力線), 電位(静電エネルギー, 電位 差と仕事, 等電位面) など

〆切 (月3→金13時, 木3→火13時) を必ず守る。 基礎物理 A/電磁気学 7回目 (<u>原科</u>) 解答用紙(授業 曜 限)学籍番号 氏名 数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつけること! ☆… 問 1 問2 (a) 理由: (b) 理由: (c) 理由: 問 3 (a) 電圧\_\_\_\_\_ (b) Q =(c) U =問 4 (a) 理由: (b) 理由: (c) 理由: (d) 理由: (e) 理由: (f) 理由: 問 5 (a) (b) (c) 問 6 (a) I =(b) P = \_\_\_\_ (c) q =(d) 発熱量Q=

☆このレポートをやるのに \_\_\_\_\_時間\_\_\_\_分,

それ以外に、この講義の予習復習を \_\_\_\_\_時間\_\_\_\_分した。